

你好！

ちゅうごく てんしん にほんじん がっこう
中国・天津日本人学校

から

こんにちは！

第19号 2020. 3. 22



ずっと天津通信が出せなくてごめんなさい。中国は、1月からコロナウイルスにかかわって平常ではない生活が続いています。春節という連休明け、天津日本人学校も休校となり、結局3月いっぱい再開されず、残念ながら卒業式もできないまま修了式を迎えました。日本でも学校がお休みになり、皆さんもきっと不安な毎日を過しているのでは、とニュースをみて心配しています。

どうか、みんながまた安心して学校に行けるように早くおさまってほしい、と願っています。

第19号は、**コロナウイルス流行での天津の生活**についてお伝えします。

中国は、1月25日が日本でいう元旦で、「春節」はみんなが家族で新年を迎える楽しい連休のはずでした。…ところが、武漢で発生した原因不明の肺炎が新型コロナウイルスであると発表され、感染者が増えていき、春節中はもちろん、その後も、中国国内の学校はすべて休校。人の移動も制限されています。

町の中の様子



町中のあちこちに張られた赤い横断幕。守ることや注意することが書かれています。



銀行の前の張り紙



お店の閉店のお知らせ。スーパーは開いていますが、食堂は全部閉まっています。



道路の上の表示です。何と書いてあるか、漢字からわかりますね。



住んでいる所の出入り口。このように検査する人が立っていて、体温計測と入るための許可証を見せないと入れません。



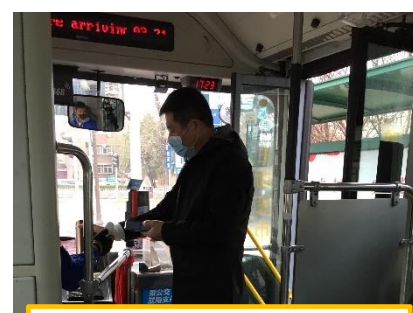
各施設どこでも入り口に↑QRコードがあり、入る前に認証が必要です。



左は学校のある地区に入るため、右は私の住居へ入るための許可証です。



学校に行く際の車の中。必ず体温を計測されます。



バスは乗れますが、運転手さんが一人一人乗る前に体温測定をします。

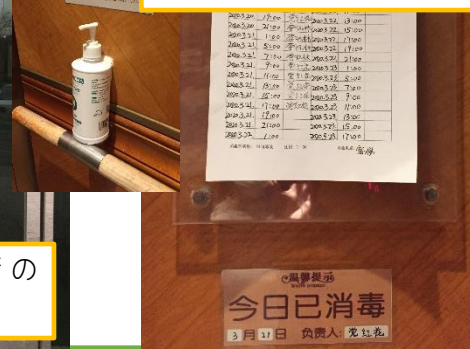


住居の入口。カメラの前に立つと画面に体温が表示されます。



住居の入口2か所のうち1つは完全閉鎖。

エレベータの中。毎時間の消毒の記録。



エレベータの前。靴の裏を消毒します。

ここまで徹底した防止対策は、中国ならではないかと思えます。国の違いを強く感じた体験でした。人も車も多くて活気のある中国の町中が、今回のことで一変しました。辛い日々でしたが、みんなが協力して過ごし、現在は少しずつですが元の様子に戻りつつあります。いろいろな国で不安な状態が続いています。早く、世界中の人が安心して生活できるようになってほしいと思います。

天津日本人学校では・・・



制限があって学校に行けない日もあり、部屋で〇つけ↓



はじめは、ホームページで課題を配信し、各自で取り組んでもらいました。でも、2月いっぱい休校となり、学校で勉強できない所があるので、授業を動画で撮ったものを見て学習してもらいました。(左上写真)

3月からは、「DingTalk」という中国のアプリを使いました。ビデオ会議ができるので、毎朝クラスでつながり、顔を見ながら朝の会をしました。離ればなれになっている友達に会えるのでみんなにとって楽しみな時間でもありました。その後、課題を送り、その日のうちに提出してもらい、ipad で点検して返します。(左下写真) 聞きたいことやわからない所は、直接ビデオ会議で説明しました。 3月13日は修了式。転校でお別れになる子もいたので、午後2時から1年生みんな(日本にいる29名、天津にいる2名が参加)でつながり、終わりの会をしました。最後にみんなでお互いがんばっていきましょう！と励まし合えた時間でした。

今回の体験で、どこにいてもインターネットでつながることができるというのはすごいなとあらためて実感しました。皆さんも、これからどんどん進化するネット環境を自分やみんなのために有効に活用していける人になってくださいね！！